

かんきつの摘果と夏秋梢伸長抑制に!

ターム[®]

水溶剤



特長

- ①温州みかんの摘果作業労力軽減に寄与します。
- ②樹勢に影響が少ないので、連年使用できます。
- ③ハウスみかんの夏秋梢の発芽を抑制することにより、安定生産、品質の向上に寄与します。

[®]はアグロ カネショウ(株)の登録商標



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

ターム[®] 水溶剤

物理的化学的性状:類白色水溶性粉末
 成分:1-ナフタレン酢酸ナトリウム.....22.0%
 界面活性剤等.....78.0%
 毒性:-(毒劇物に該当しない)

適用及び使用方法

作物名	使用目的	希釗倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	1-ナフタレン酢酸を含む農薬の総使用回数
温州みかん	摘果	500~1000倍	250~500ℓ/10a	一次生理落果発生期(満開10~20日後)	1回	立木全面散布又は枝別散布	4回以内 (一次生理落果発生期は1回以内、二次生理落果発生後は3回以内)
	夏秋梢伸長抑制	1000~1500倍		二次生理落果発生期(満開20~40日後)	1回		
	結果母枝の充実、着花促進	1000~2000倍		新梢萌芽前 但し、収穫前日まで	2~3回		
かんきつ (温州みかんを除く)	摘果	1000~1500倍	300~600ℓ/10a	夏秋梢萌芽時及び再萌芽時 但し、収穫前日まで	2回	立木全面散布又は枝別散布	
	夏秋梢伸長抑制	1000~2000倍		生理落果発生期(満開10~50日後)	1回		
	果実肥大促進	4000~8000倍		新梢萌芽時及び再萌芽時 但し、収穫前日まで	2~3回		3回以内
	後期落果防止	1000倍		果実肥大期 但し、収穫前日まで	2回		
オリーブ (交互結実栽培の非収穫年)	全摘果	1500~2000倍		果実着色期~収穫予定14日前	1~2回		
かき (苗木)	さし木の発根促進	40~60倍	—	非収穫年の満開期	1回	散布	1回
キウイフルーツ (雄木)	新梢伸長抑制			さし木直前	1回	さし木基部瞬間浸漬	
マンゴー	夏秋梢伸長抑制	1000~2000倍	50~300ℓ/10a	新梢伸長時	1回	立木全面散布又は枝別散布	2回以内
				新梢伸長期	2回以内		2回以内

試験成績

①目的:温州みかんの夏秋梢発生抑制

- 試験場所:佐賀県果樹試験場(平成17年)
- 供試品種:宮川早生 13年生
- 処理日:9月1日/9月21日
- 処理方法:動力噴霧機により薬液が葉先から滴る程度散布した
- 調査方法:散布処理後、樹毎に新梢の発生数、新梢長を調査した

処理区	発芽数(本/樹)	新梢長(cm)
ターム水溶剤 1000倍	1.0	2.7
ターム水溶剤 2000倍	1.3	3.1
A剤1000倍	2.3	5.7
無処理	20.6	19.1

②目的:温州みかんの摘果

- 試験場所:果樹研究所カンキツ研究部興津(平成16年)
- 供試品種:青島カラタチ台 33年生
- 処理薬剤:ターム水溶剤 1000倍
- 区制:1区1枝(200~600葉)3連制(3樹)
- 調査時期:7月中旬

処理時期	試験区	落果率(%)	葉果比*
満開20日後 (5月24日)	ターム	99.5	—
	無処理	90.4	11.9
満開30日後 (6月4日)	ターム	79.9	27.5
	無処理	69.2	12.2
満開40日後 (6月14日)	ターム	96.4	—
	無処理	30.2	11.9

落果率(%): (処理時の果数 - 調査時の果数) / 処理時の果数 × 100

*: 調査時に着果数が0の区が含まれている場合は「-」とした

効果・薬害等の注意

- (1)本剤の所要量を所定量の水に希釗し、よくかき混ぜてから散布してください。調製した薬液はその日の内に使用してください。
- (2)本剤は植物ホルモン剤であり、散布条件によって薬効薬害に影響が現れやすいので他剤との混用はさけてください。また、アルカリ性農薬を本剤散布前後に近接散布することはさけてください。なお、マシン油乳剤を近接散布すると旧葉が落葉するがあるので注意してください。
- (3)散布直後の降雨は効果が減ずる原因となるので、天候を見極めてから散布してください。
- (4)過度の乾燥、着果負担などによって極端に樹勢の低下した樹では旧葉の落葉を助長するので本剤の使用をさけてください。
- (5)重複散布はさけてください。
- (6)温州みかんに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ①摘果を目的に本剤を使用する場合は、一次生理落果発生期(満開10~20日後)では1回以内とし、2回使用しないでください。
 - ②二次生理落果発生期(満開20~40日後)で使用する場合、一次生理落果の状況を確認した後で使用してください。
 - ③樹全体を摘果したい場合は立木全面に、部分的に摘果したい場合は摘果したい部分のみ散布してください。
 - ④全摘果など効果を高めたい場合は、気温が高くなることが予想される日にたっぷりと、間引き摘果など一定量の果実を残したい場合は、薬液が葉先から滴り落ちない程度に少なめに散布してください。
 - ⑤間引き摘果の目的で使用する場合、次のような条件では過摘果のおそれがあるので使用をさけてください。また、本剤散布前後4~5日のマシン油乳剤の近接散布をさけてください。
 - 30℃以上の高温下
 - 散布後に高温が2~3日続くと予想される場合
 - 樹勢の弱い樹
 - 病害虫の害い被害を受けた樹
 - ⑥本剤による摘果が終了した後に仕上げ摘果を行い、品質の均一化や樹勢の維持に努めてください。
 - ⑦結果母枝の充実、着花促進の目的で使用する場合は、施設栽培以外では使用しないでください。
- (7)かんきつ(温州みかんを除く)に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ①1-ナフタレン酢酸を含む農薬の総使用回数と各使用目的の本剤の使用回数に、特に注意して使用してください。
 - ②夏秋梢伸長抑制を目的に使用する場合は果実肥大促進目的では使用しないでください。
 - ③夏秋梢伸長抑制を目的に使用する場合は、夏秋梢伸長抑制目的では使用しないでください。
 - ④果実肥大促進を目的に使用する場合、果実糖度の低下や果皮色が劣る場合があるので、留意して使用してください。
 - ⑤果実肥大促進を目的に使用する場合、摘果直後の果実肥大期に留意して使用してください。
 - ⑥下記に記載した使用目的と作物の組み合わせに本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 「摘果: 天草、伊予柑、清見、せとか、はるみ、湘南ゴールド、ポンカン、不知火、たまみ」
 - 「夏秋梢伸長抑制: はるみ、ポンカン、天草、不知火」
 - 「果実肥大促進: 不知火」
 - 「後期落果防止: 河内晩柑」
 - ⑦マゴーに使用する場合、伸長を抑える節が緑化した際に散布してください。気温が高く伸びる伸長する場合、葉芽前に追加散布を行ってください。なお、散布時期が遅れると発芽遅延が生じることがあるため時期を見極めて散布してください。
 - ⑧オリーブに使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ①交互結実栽培とは、意図的に全摘果を行い、翌年の着花・着果を促進させるもので、収穫は隔年になります。本剤は非収穫年の全摘果の目的で使用してください。
 - ②本剤処理後の残存果実及び結実後落果した果実は、適切に廃棄処理し、食用又は搾油に供しないでください。
 - ③本剤の処理により新梢が弯曲することがありますが、その後の生育への影響は認められていません。
 - ⑨かき(苗木)に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ①さし木は健全な親株からよく充実した枝を選んでください。
 - ②浸漬はさし木の基部2~3cmへ5~10秒程度浸漬してください。
 - ③さし木後はミスト等でさし木の水分や温度、湿度を適切に管理してください。
 - ④樹木やさし木の管理の状態によって枯死株が増える場合があるので注意してください。
 - ⑤下記に記載した品種以外に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - (効果の確認されている品種) 豊楽台、MKR1、静カ台1号、静カ台2号
 - ⑩キウイフルーツ(雄木)に使用する場合は雌木にかからないよう、雄木専用園等で使用してください。
 - ⑪樹木で植物ホルモン効果を示すので周辺作物にかからないようにしてください。
 - ⑫使用後の散布器具等は十分洗浄してください。
 - ⑬本剤は植物ホルモン剤であるので、使用に際して使用時期、使用量、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- (1)誤食などのないよう注意してください。
- (2)本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- (3)散布の際は農薬用マスクなどを着用してください。
- (4)浸漬処理に使用する際は不浸透性手袋などを着用してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼・乾燥した所

効果的な使用方法

- ①全摘果目的に使用する場合、第一次生理落果の直前~終期までの時期を逸しないよう散布してください。枝別に間引きしたい場合は目的とする枝に散布してください。
- ②間引き摘果目的に使用する場合、第二次生理落果の発生時期に散布してください。
- ③新梢抑制目的に使用する場合、新梢の萌芽前に散布してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。